

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 26日

事業所名 放課後デイサービスくれよん

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------------------|----|--|----|-----|--|------------------------------------|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | | 学習室とフリースペースを分けており、一人ひとりのスペースを広くとれる。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | | 配置基準に則って、職員配置している。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 5 | | 新築で段差がなく、フラットにしている。 | |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 4 | | 研修や活動の振り返りを毎回出来ている。 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | 毎年アンケート調査を実施し、保護者の意向を把握している。 | 保護者の意向に沿えるよう、業務改善をしている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | | HP上で公開している。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 5 | | | 今後も外部評価を検討し、業務改善につなげていく。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | 毎月1回外部講師を招いて、研修を実施している。 | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | 会議で意見交換を行い、分析することが出来ている。保護者のニーズ、学校の様子、今後の課題等を分析し、作成している。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | | 標準化されている物を使用している。 | 今後アセスメントツールの見直しも行っていく。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | | 細かいことは主に担当がするようになっているが、会議で話すことは出来ている。 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | | 固定化しないように会議等で話し合い、工夫することが出来ている。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 5 | 1 | | きめ細やかには出来ていない為、課題を細かく設定し、支援を行っていく。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | 子どもの状況に応じた計画を作成することが出来ている。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | | 朝礼時、その日の活動内容を担当職員から話し、確認することが出来ている。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|---|---|----|--------------------------------|--|---|
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | | 終礼時に話すことが出来ている。パート職員には次の日の朝礼時に共有している。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | | きちんと記録し、検証・改善を行っている。 | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | 定期的に行い、状況変化に応じて行うことが出来ている。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | 5 | | ガイドラインの総則に基づいて支援を行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | 参画することが出来ている。 | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 5 | | | 下校時刻の変更等、学校と連携が取れていない時があるので、きちんと連携をとるように改善する。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 6 | | | まだ受け入れたことがないので、マニュアル等を事前に立てておく。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 4 | | 事業所とは出来ている。 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 5 | | | 卒業生に対しては、学校への報告はしたが、就労場所へ情報などは提供していない。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 5 | | | 特定の所としか連携出来ていない為、今後は出来ていない所とも連携していく。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 2 | 2 | | コロナの影響で外部との交流が難しいので、落ち着き次第、計画する。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 3 | | | コロナの影響で参加できていない。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | | 送迎時で話すことが出来ている。話せなかった事等は、詳しく記録に書き、渡している。 | |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 4 | | 保護者会でスーパーバイザーを派遣し、保護者支援を行っている。 | | |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | | 契約時には丁寧な説明を心がけている。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | | 対応することが出来ている。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | | コロナの影響で開催することは出来ていないが、年に1回は開催している。 | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | | 苦情については全員に共有し、迅速かつ適切に対応している。その後のフォローも全員で行っている。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | | 毎月、通信やSNSで情報発信している。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6 | | 個人情報は必ず鍵付きの書庫で管理している。また、顔写真をSNS上に載せる際も承諾書を得るなど配慮している。 | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | 一人一人の子どもやその保護者に応じた支援を行っている。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 2 | 2 | | 移転してから行ってない為、今後コロナが落ち着いてから招待していきたい。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 5 | | 全てマニュアルを策定している。 | 今後、保護者会等で保護者にも周知していく。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | 避難訓練を行い、ルートや避難場所の共有を職員間でしている。 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | | 虐待について職員研修を行い、迅速に対応出来るようにしている。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 4 | | | どこまでが拘束になるのか、ということから職員全員で周知し、規則に則り対応していく。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | | | 口頭での確認だった為、書面を作成する等の対応をする。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | | 気づいた時点で書くようにし、回覧で共有している。 | |